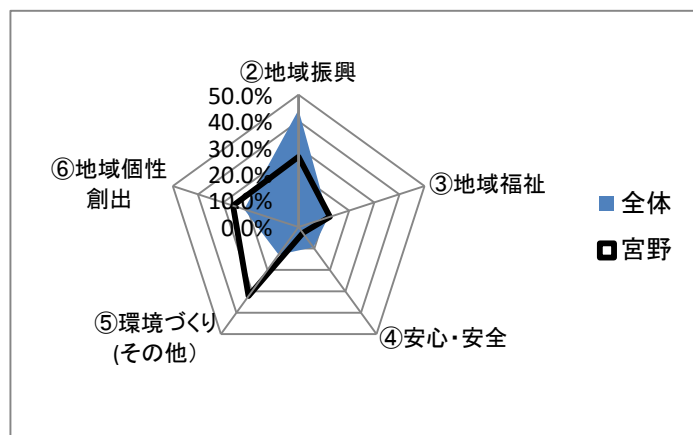


みやの地域づくり協議会 地域づくり交付金事業概要(令和6年度)

■地域の情報

地域人口	13,478人	自治会数	42
世帯数	6,501世帯	自治会加入率	72.3%

※数値は、令和7年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	13,378,000 円
交付金決算額	12,734,442 円
その他収入	2,178,630 円
交付金決算額／配分額	95.2%

各分野の決算

①協議会運営	8,009,817 円
②地域振興	917,191 円
③地域福祉	428,668 円
④安心・安全	94,028 円
⑤環境づくり(土木工事)	3,451,050 円
⑤環境づくり(その他)	1,111,898 円
⑥地域個性創出	900,420 円
決算総額	14,913,072 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

地域住民や各種団体と連携・融和を図るとともに、地域課題の解決に向けた活動を活性化し、安心・安全な地域づくりを進めます。

■総括

長く続いたコロナ感染対策の終了から、従来通りの環境に戻ると想定していましたが、予定通りとはいきませんでした。気候変動による猛暑、荒天に事業が中止されることも多々ありました。地域づくり計画に基づき、新たな事業を計画しましたが未実施事業もあります。部会で実施時期を再検討する必要があります。部会との連携を密にし「地域課題解決」に向け、「地域活性化」「円滑な事務局運営」を図ります。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局運営費用(人件費:事務局長1名、事務局員3名、事務費)
② 地域振興	広報活動事業 未来構想研究事業(県立大学南キャンパス跡地利用・県林業指導センター跡地) 子ども食農教育事業
③ 地域福祉	あいさつ運動事業 救命講習会開催事業 世代間交流開催事業 講座・講演会開催事業 コミュニティ交通検討・支援事業 ふれあいスポーツ交流事業 ニュースポーツ普及事業
④ 安心・安全	子どもの安全対策事業 高齢者の安全対策事業 反射鏡設置等補助事業 防犯灯設置等補助事業 防災対策向上事業

⑤	環境づくり	土木工事（法定外公共物）
		木戸山公園整備事業
		クリーン作戦啓発事業
		さくらの里づくり維持管理事業
		里山資源利用団体支援事業
		地域と県立大学の交流会支援事業
		着物喫茶支援事業
		まち歩き支援事業
		道路維持活動助成事業
⑥	地域個性創出	歴史講座開催事業
		歴史・文化・自然写真コンテスト事業
		名所・旧跡等保全活動事業
		ホタルまつり支援事業
		祇園裸坊参加支援事業

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	未来構想研究事業(県立大学南キャンパス跡地利用・県林業指導センター跡地)	決算額	6,575円
	目的	県有地の跡地利用は将来の宮野に大きな影響を与えることから、山口県・山口市との連携を強化します。		
	実施内容	南キャンパス跡地利用に伴う県・市からの情報を周知しました。		
	実施時期	通年		
	参加人数	県関係機関情報交換:6人 移動市長室:25人		
	成果	南キャンパス跡地利用及び林業指導センター跡地整備等について、移動市長室を利用して山口市よりの情報提供及び地元要望を共有しました。		
	評価	現状を周知できました。		
	今後に向けて	県と市との進捗状況に注意を払い、地域対応に努めます。県林業指導センター跡地利用についても県の動向に注意を払います。		

②	事業名	クリーン作戦啓発事業	決算額	129,817円
	目的	小中学校合同清掃作業をアピールし、町内会内での一斉清掃を推進し、不法投棄防止運動を幟旗設置等で推進します。		
	実施内容	10月を「宮野クリーン月間」と定め、全世帯にゴミ袋を配布するとともに、町内会単位での一斉清掃を推進しました。宮野小中学校による合同地域清掃作業に協力しました。地区一斉清掃を計画したが、前事業と時期がほぼ重複したので中止しました。不法投棄防止運動の一環として、常襲地帯への幟旗設置及びパトロールを継続実施します。		
	実施時期	クリーン月間取組期間：10月～11月 不法投棄防止運動及びパトロール：通年		
	参加人数	小中学校合同清掃作業：20人 町内会内での一斉清掃：23町内会 不法投棄防止運動：15人		
	成果	美化推進活動は、地域に概ね浸透しました。7月から11月末までに一斉清掃した町内会数：23町内会		
	評価	一斉清掃実施町内会数は、概ね目標を達成しましたが、不法投棄が絶えません。		
	今後に向けて	町内会一斉清掃を推進し、環境美化の意識向上を図るとともに、関係機関との連携及び不法投棄防止運動を広報し、不法投棄のない地域を目指します。		
③	事業名	名所・旧跡等保全活動事業	決算額	390,490円
	目的	名所・旧跡等の情報発信や風景カレンダーを全戸配布することで「宮野再発見」と「みやの愛」を深めます。		
	実施内容	「宮野名所・旧跡マップ」の増版(1,000部)や写真コンテスト応募写真を利用した「2025 宮野の風景カレンダー」を7,500部作製し、全戸・関係機関に配布しました。		
	実施時期	10月～1月		
	参加人数	カレンダー配布：5600部配布 写真コンテスト応募：17人		
	成果	好評なカレンダーで、自然豊かな宮野の名所・旧跡を地区内外に周知することができました。名所・旧跡マップは、様々な活動で利用されています。		
	評価	ふるさと宮野に愛着が深まりました。		
	今後に向けて	風景カレンダーの作製・配布を継続することにより、「ふるさとみやの愛」を育みます。名所・旧跡の散策を推進します。		